

センター月だより

〒 507 0034 多治見市豊岡町 55 ヤマカまなびパーク4F TEL 0572-23-3455 FAX 0572-26-8813

指導日誌より

= 土岐地区 =

駅の階段がどうしてもベンチ代わりになっています。誰かが座ると連鎖してしまう。男女問わず座ってスマホをしている子が必ずいます。駅員さんの話では、夏休みに入ってからロータリー中央にたむろする若い子はいなくなったようです。(8/3 泉 9)

旧鶴里小学校跡で行われた夏まつり会場で出会った子どもたちは、自分からあいさつをしてくれた。それぞれのイベントに楽しく参加していた。(8/7 鶴里 4)

カラオケ店「まねきねこ」では、昨日(8/10)の早朝4時に高校生のグループが来店したとのこと。4時から店外で騒いでいたことを理由に、入店を断ったとのことでした。(8/11 特B)

夏休み中だからか子どもに出会う機会が少なかった。スーパーの駐車場は、以前はタバコの吸い殻が多くあったが、今回はほとんど無かった。(草刈り等の直後であったためか?)(8/17 特A)

妻木町ふれあい夏祭りがあり、ボランティア活動に協力した子が多く、みな時間を守って帰宅していた。(8/20 妻木 3)

「さっきまで子どもたちがいたけど、帰りました。」と児童館や公民館でいわれました。公園やコンビニ

でも子どもの姿はなく、翌日が登校日なので準備をしているのかなと思いました。お店の方や係の人と言葉を交わし、あいさつができました。(8/23 駄知 6)

巡回の直前に雨が降った為か、おりべの丘の団地でも子ども達の姿は無かった。夏休みも終わりで、高校はちらほら始まる場所もあり、駅では10人程の高校生に声をかけた。(8/23 泉 8)

= 多治見地区 =

夏まつり会場で声かけ。地域の方々の係分担がしっかりされており、児童生徒の心配な姿はほとんど見られませんでした。(8/6 根本 10)

セガに幼児がひとりでしたので確認すると、祖母と一緒に来ていた。夏休みのため、どこを回っても大勢の子どもがいました。(8/9 精華 2)

駅周辺を巡回した。夏休みのため学生の姿をあまり見かけなかった。時々出会う子どもたちは暑さにも負けず元気にあいさつを返してくれた。(8/9 南姫 9)

暑かったので外に出ている子どもはいなかったが、児童館では元気に遊ぶ子供たちがいて声をかけた。(8/18 養正 1)

暑い日だった。虎渓用水公園は涼しくなると良い遊び場だと思う。今後気を付けて見回る必要がある

◆◆◆ 8月 声かけ活動の結果 ◆◆◆

(夏休み夜間特別活動を含みます)

	多治見地区	瑞浪地区	土岐地区	合計
指導人数	4	6	0	10
声かけ人数	356	132	121	609
指導員参加者	102	54	39	195

かも知れない。(8/18 脇之島 12)

集会所の外に設置してある防災倉庫の壁に落書きがあった。関係者に連絡するようにした。(8/19 滝呂 8)

公園に4人の中学生がいた。その内2人がタバコを吸っていたので注意をした。返事は返ってきたが、態度は悪い。交番に連絡した。承知されているようだった。(8/27 北栄 1)

夏休みが明けた。公園や児童センターには小、中学生が集まっていた。少し生意気な態度の中学生もいたが、まとまってトランプをしたり、卓球をして遊んでいた。(8/30 池田 6)

= 瑞浪地区 =

激しい雷雨の後、雨が小降りになったので出発した。さすがにコンビニをはじめどこも閑散としており、子どもたちの姿もなかった。まあ、安全第一で結構かも。(8/2 稲津 F)

20時過ぎ、土岐川堤防で男子高校生3人が、自転車に乗って来て、ルアーで投げ釣りをしていた。早く帰るように指導したら、川から上がって帰っていった。(8/11 夏特)

夏まつり会場や周辺を巡回した。夜店が出た通りには子どもたちがたくさんいた。あいさつはほぼ全員が返してくれ、特に問題もなく皆楽しんでいるようだった。(8/15 陶 E)

駅前の学習塾の前で迎えの車を待っていた女子中学生が、我々の姿を見て「ご苦労様です。」とねぎらいの言葉を掛けてくれた。嬉しかった。駅のキオスクで最近困っていることはないかと聞くと、「携帯を充電させて」と多くの子どもたちが来るようになった。家に帰って充電するように指導している。」とのこと。(ポケモンGOの影響か?) (8/16 日吉)

相対的貧困

「相対的貧困」に苦しむ子ども達の問題を同世代の高校生や教員に発信するために、神奈川県が主催したイベントをNHKが8月18日の「ニュース7」で取り上げたところ、番組で紹介した女子高校生にネット上で批判が殺到しました。

NHKは「貧困女子高生」と報じましたが、「生活に余裕がある」「ねつ造だ」という批判です。番組では「自分の部屋にエアコンはない」と報じましたが、映像にエアコンのようなものが映っていたとか、生徒のツイッターを探し出し、「アーティストのライブに行っている」「千円以上のランチを食べている」などと生活面がバッシングされました。

8月31日、批判していたネットニュースサイト「ビジネスジャーナル」は、NHKにねつ造はなく、事実誤認をしたのは自社だったと謝罪文を発表し、騒ぎは収束しました。

今回の騒動の要因のひとつは、「相対的貧困」の意味を理解していない人が多いことでしょう。「相対的貧困」とは、厚労省の定義もありますが、要は社会において平均的な暮らしを送ることができていないことを指します。たまに千円以上のランチを食べられても、経済的な理由で卒業後は好きな絵の専門学校に行けないというこの生徒の状況が「相対的貧困」です。食べものや着るものに困窮している「絶対的貧困」とは違います。

勇気を出し実名でイベントに参加して発言し、NHKの取材に臨んだ、女子高生が受けたショックはどんなにか大きいでしょう。

子どもの貧困は深刻化しており、2014年に厚労省が発表した「子どもの相対的貧困率」は過去最悪の16.3%に上り、6人に1人の約325万人が該当するとのこと。

< センターから > 「夏休み夜間特別活動」ありがとうございました

3地区全ての班で、7～8月の「夏休み夜間特別活動」を実施いただきました。お陰様で花火大会や各地区の夏祭り等では、大きな事件・事故はありませんでした。ありがとうございました。ただ、8月の活動はいくつかの班で実施できなかった班がありました。悪天候等の場合は止むを得ませんが、年間13回をお願いしていますので、冬休みや春休み等で出来ればお願いします。

右記のように今年も研修会を開催します。指導員の方は、是非とも全員のご出席をお願いします。声かけ活動に活かして頂けると幸いです。

日時 平成28年10月8日(土) 9:45～12:00
受付 (会場前ロビー) 9:30～
会場 土岐市文化プラザ 1F ルナホール
講演 『最近の児童生徒の状況と今後の課題と声かけについて』
講師 岐阜県教育委員会 東濃教育事務所 安藤 宏 様

3地区合同研修会